

【やまと観光活性化ファンド】 桜井まちづくり株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構、そのファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社、大和信用金庫及び株式会社AGSコンサルティングの4社を組合員とする「やまと観光活性化ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、本日付けで「桜井まちづくり株式会社」が行う奈良県桜井市の歴史的建造物のリニューアルに対する投資を決定しましたので、お知らせいたします。

桜井まちづくり株式会社は、2016年に奈良県桜井市の地域活性化を目的として設立されました。「桜井らしさを醸す歴史的な景観を残しつつ、訪れてよし、住んでよしのまちづくりを目指す」とのコンセプトに沿って、古民家・歴史的建築物の活用や市のふるさと納税事業の支援など、桜井のまちに付加価値をもたらす取り組みを行っています。

桜井市は、邪馬台国の遺構との説もある「纏向(まきむく)遺跡」や日本最古の交易市場とされる「海柘榴市(つばいち)」等の歴史遺産、国宝・重要文化財級の文化財が多数存在する地域です。桜井まちづくり株式会社が開発エリアとする本町通りも、古来より伊勢本街道、竹内街道、多武峰街道が交差する交通の要衝であり、今日まで情報や文化が集う場所として時代を重ねて来ました。

桜井市本町通りに今年4月にオープンした「櫻町珈琲店」は、明治・大正期の古民家を改修して再活用し、好評を博しております。それに続く本件は、同地域の大正時代の建築物である「旧京都相互銀行桜井支店」をレストランとしてリニューアルし、2018年春頃のオープンを目指しています。店舗の運営は橿原市の「和・ビストロ吟(なごみ・ビストロぎん)」が行い、自家栽培の野菜等を用いた、素材の良さを楽しめるレストランとして、観光客誘致とともに、地元住民にも利用してもらえるような地域全体の魅力度の向上に資する施設の設置を狙いとしています。本件はこれまで未活用であった銀行建築を地域資産として有効活用することにより、維持可能な形で将来に施設を保全するための取り組みを支援するものです。

当機構は、本年4月に日本政府観光局(JNTO)と「古民家等の歴史的資源を活用した外国人旅行者の地方誘客促進に向けた連携協定」を締結し、全国的に課題となっている歴史的建築物・古民家の活用を、観光活性化における重点分野と位置付け、積極的な取り組みを行っております。

今後も、本ファンドは、地域金融機関のネットワークを活用しつつ、地域経済活性化に資する事業への成長資金供給等を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。

【投資先の概要】

| | |
|------|----------------|
| 会社名 | 桜井まちづくり株式会社 |
| 所在地 | 奈良県桜井市大字桜井 |
| 代表者 | 小西 宗日出 |
| 事業内容 | 不動産保有・管理会社、宿泊業 |

【やまと観光活性化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/18.html>

機構ホームページをご参照ください。

【既存改修物件である櫻町珈琲店の開業式】



【櫻町珈琲店のサインボード】



以上

＜お問い合わせ先・ご相談の連絡先＞

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590